

## 事後評価調書

I 事業概要						
事業名	急傾斜地崩壊対策事業					
地区名	本久区域					
事業箇所	新城市乗本地内					
事業のあらまし	本久区域は新城市乗本に位置し、人家 14 戸を保全対象とする急傾斜地崩壊危険区域である。当箇所は脆弱な礫混じり砂からなる堆積段丘であり、斜面は風化が進み崩壊の危険が高い状況となっていた。このため豪雨時には斜面が崩壊し崩土が人家に達する恐れがあり、早急に斜面对策を行って人家の保全を図る必要があった。このため、平成 16 年度より急傾斜地崩壊対策事業に着手し、平成21年度に完了した。					
事業目標	<b>【達成(主要)目標】</b> 人家 14 戸を急傾斜地の崩壊による土砂災害から保護する。 <b>【副次目標】</b> (事前評価時に設定した場合、記載する) 該当なし					
事業費	事業費		内訳			
	2.70 億円		□工事費 1.99 億円、□用補費 0.35 億円、□その他 0.36 億円			
事業期間	採択年度	平成16年度	着工年度	平成 17 年度	完成年度	平成21年度
事業内容	急傾斜地崩壊防止施設工(法面工等) L=349m					
II 評価						
①事業目標の達成状況	1) 主要目標の達成状況	<b>【達成状況】</b> 主要目標に掲げられた保全対象を保護するために必要な施設が設置され、現在まで健全に機能を発揮していることから、目標は達成されていると考えます。 <b>【達成状況に対する評価】</b> 主要目標の達成状況は、申し分のないものと考えます。				
	2) 副次目標の達成状況	<b>【達成状況】</b> 該当なし <b>【達成状況に対する評価】</b> 該当なし				
III 対応方針						
今後の事後評価の必要性	II 評価より、特に今後の事後評価の必要性はありません。					
改善措置の必要性	II 評価より、改善措置の必要性はありません。					
同種事業に反映すべき事項	本事業は従来からの手法により対策を実施しているため、他の事業箇所へ反映させる事項は特にありません。					